



WIN-WIN

最適循環運動!

—自動車産業全体の底上げをめざして—

現状

国内市場の縮小
国内生産の減少

グループを越えた取引拡大
グローバル競争の激化

デフレ脱却に向けた正念場
トリクルダウンの限界

課題

企業収益のバラつき
二極化

(企業規模の大小、業種の違い、海外展開できる・できない)

労働条件の格差拡大

人材不足

(業種による深刻さの違い、働く魅力の充実)

裾野の広い自動車産業の基盤を支えている中堅・中小企業の底上げがなされてこそ、
真の意味で経済や産業の持続的な発展が可能となる!

そのためには、「労働条件の改善」と「現場力の底上げ」の両面からの取り組みが必要

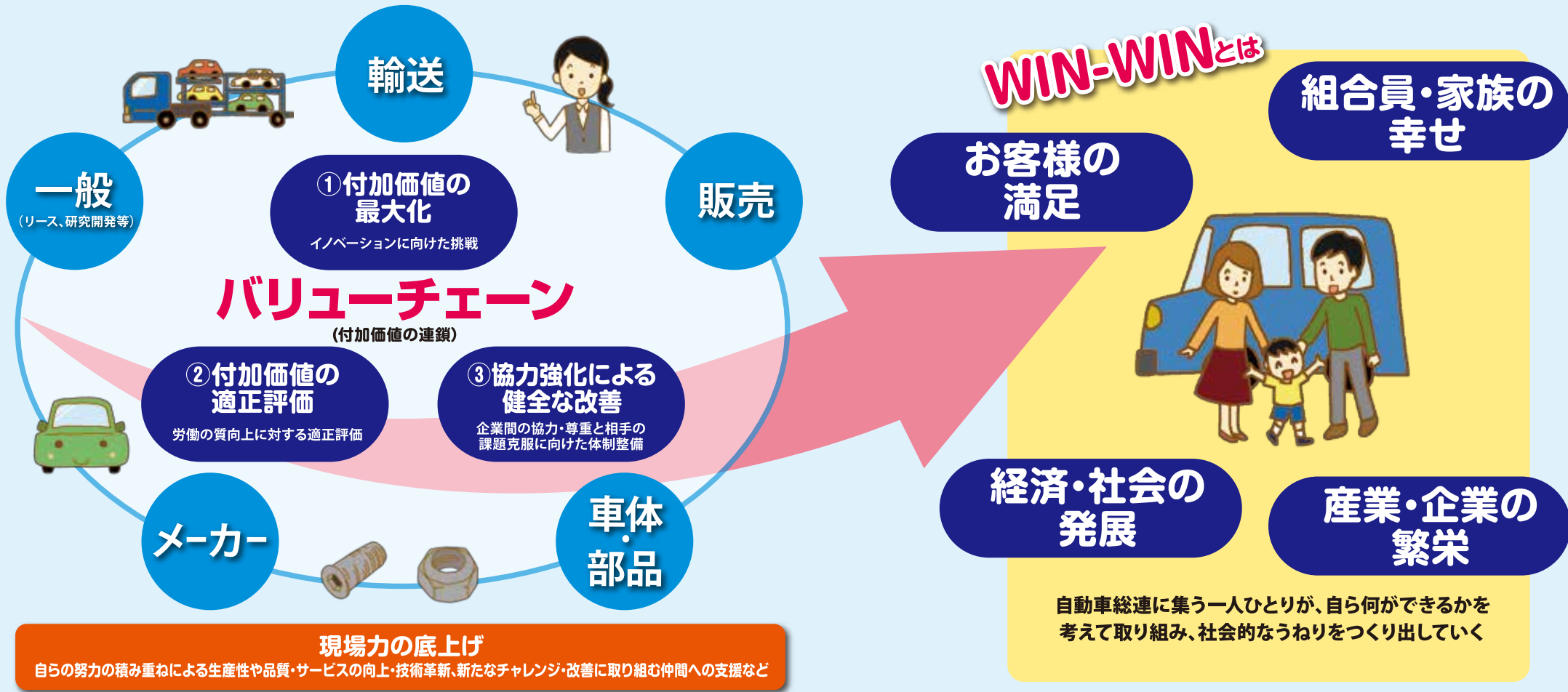
自動車産業の競争力を、企業規模の大小に関わらず職場段階から高め、
付加価値を産業のバリューチェーンに循環させる「最適循環運動」に取り組む!

“付加価値”の **最適循環運動** のめざす姿

「最適循環運動」
とは

- 活動のポイント【3本柱】
- ①付加価値の最大化
⇒各職場が生み出す付加価値を最大化する努力を積み重ねる
 - ②付加価値の適正評価
⇒取引相手が生み出した付加価値を適正に評価することを大切にする
 - ③協力強化による健全な改善
⇒企業間・業種間での協力を強化し、健全な改善を押し進めていく

左記の3本柱を切り口にして、付加価値を自動車産業のバリューチェーンに循環させる運動
(運動の期間：2016—2018年の3年間)



自動車産業全体の総合力向上と、安定した質の高い雇用の創出に向けて、前に進もう！